

23日(木)

7:00~ ^{けちがんじんじょう}結願晨朝 ^{りんばん}法話 輪番 ^{やすだ まさし}安田 雅
^{しょうしんげ}正信偈 ^{しんどく}真読
^{ねんぶつさん}念仏讚 ^{ゆり}淘八
^{わさん}和讚 ^{なむあみだぶつ えこう くだいろくしゅ}南無阿弥陀仏ノ回向ノ 次第六首
^{ごへんがえし}五遍反
^{えこう}回向 ^{がせびそんくどくじ}我說彼尊功德事
^{おふみ}御文 ^{らんしょうにん じょうめだい つう}鸞聖人 三帖目第九通

9:00~ ^{ききょうしき}帰敬式 (受付午前8時より)

10:30~ 法話 ^{いけだ ゆうたい}池田 勇諦 氏 (桑名市 ^{さいおんじ}西恩寺前住職)

13:00~ ^{けちがんにちゅうゆう}結願日中 (楽) ^{がく おおたにひろゆきほんざんかぎやくごさんしゅう}大谷浩之 本山鍵役御参修

^{かだ}伽陀 ^{けいしゅてんにん}稽首天人 ^{つけもの}附物
^{とうこうざ}登高座
^{しきたんどくもん}式嘆徳文
^{かだ}伽陀 ^{にやくひしゃか}若非釈迦 ^{つけもの}附物
^{せそんせっぽう}世尊説法 ^{つけもの}附物
^{しんじんもうく}身心毛孔 ^{つけもの}附物
^{げこうざ}下高座
^{じきにゅうみだ}直入弥陀 ^{つけもの}附物
^{もんるいげ}文類偈 ^{そうしくめさげ}草四句目下
^{ねんぶつさん}念仏讚 ^{ゆり}淘八 ^{さんじゅうねんぶつ}三重念仏 ^{つけもの}附物
^{わさん}和讚 ^{さんちようじょうど だいしとう くだいさんしゅ}三朝浄土の大師等 次第三首
^{えこう}回向 ^{がんにしくどく}願以此功德 ^{つけもの}附物



ほんざんかぎやくごさんしゅう 本山鍵役御参修

門首を補佐するとともに、本山御影堂の親鸞聖人御真影を安置するお厨子の御鑰(かぎ)の管理にあたる方を「鍵役」といいます。この鍵役に法要に御出仕いただくことを「御参修」といいます。

桑名別院報恩講では、毎年、22日の結願速夜と23日の結願日中(御満座)に御参修いただいております。本年は、大谷浩之鍵役(信悟院殿)に初めて御参修いただきます。

真宗大谷派
(東本願寺)

桑名別院 本統寺

〒511-0073 三重県桑名市北寺町47番地

TEL (0594)-22-0652

FAX (0594)-22-0681



桑名別院本統寺 報恩講案内

20日(月)

10:30～ 音楽法要 (三重教区仏教讃歌合唱団ひかり)

※「音楽法要」冊子を参照ください

11:20～ 法話 芳岡 恵基氏 (菰野町 翠巖寺住職)

13:30～ 初逮夜

しょうしんげ
正信偈

しんしくめさげ
真四句目下

ねんぶつさん
念仏讃

ゆり
淘八

わさん
和讃

みだじょうぶつ しいろくしゅ
弥陀成仏ノコノカタハ 次第六首

ごへんがえし
五遍反

えこう
回向

がせびそんくどくじ
我說彼尊功德事

おふみ
御文

おおさかこんりゅう じょうめだい つう
大坂建立 四帖目第十五通

14:40～ 法話 芳岡 恵基氏 (菰野町 翠巖寺住職)

15:30～ 初夜勤行

しょうしんげ そうしくめさげ どうぼうほうさんしき
正信偈 草四句目下 同朋奉讃式

引き続き

御伝鈔 (上巻)

やすだ まさし
拝読者 別院輪番 安田 雅

合唱団ひかり

音楽法要とは、1961年(昭和36年)の宗祖親鸞聖人七百回御遠忌の際に、近代音楽で違和感がなくどなたでも参加しやすい法要を願ってはじめられたものです。

本山では、毎年4月1日に「親鸞聖人御誕生会慶讃音楽法要」が勤められます。この法要は全国各地から参集した同朋の合唱によって勤められます。その法要に三重教区から参加された方々より「三重教区でも仏教讃歌を歌える場がほしい」との声が高まり、1995年(平成7年)に合唱団「ひかり」が結成されました。現在、月に1度の定期練習を重ね三重教区内はもちろん、さまざまな音楽法要の場に参加し合唱を通して同朋の交わりを深めております。

桑名別院では、4月4日の花まつり子ども大会、12月20日報恩講初日の午前中にこの「ひかり」による音楽法要が勤められます。

21日(火)

7:00~ ^{しよじんじやう}初晨朝 ^{はなやま こうすけ}法話 別院責任役員 花山 孝介 氏

しやうしんげ 正 信 偈	そうしくめさげ 草四句目下	どうぼうしやうわ 同朋唱和
ねんぶつさん 念 仏 讚	ゆり 洵 三	
わ さ ん 和 讚	みだじやうぶつ 弥陀成仏ノコノカタハ	しだいろくしゆ 次第六首
え こ う 回 向	がんにしくどく 願以此功德	
お ふ み 御 文	さんかじやう 三ヶ条	じやうめだい つう 四帖目第六通

10:00~ ^{しよにつちゆう}初日中

もんるいげ 文 類 偈	しんしくめさげ 真四句目下	
ねんぶつさん 念 仏 讚	ゆり 洵 八	
わ さ ん 和 讚	こうみやうつきひ しやうが 光明月日二勝過シテ	しだいろくしゆ 次第六首
ごへんがえし 五 遍 反		
え こ う 回 向	がんにしくどく 願以此功德	

11:10~ 法 話 ^{なかがわ かずこ}中川 和子 氏 (四日市市 ^{じやうがんにじ}常願寺住職)

13:30~ ^{ちゆうたいや}中速夜 (楽)

しやうしんげ 正 信 偈	しんしくめさげ 真四句目下	
ねんぶつさん 念 仏 讚	ゆり 洵 八	さんじゅうねんぶつ つけもの 三重念仏 附物
わ さ ん 和 讚	じっぽうみじんせかい 十方微塵世界ノ	しだいごしゆ 次第五首
ごへんがえし 五 遍 反	みだ みやうごう 弥陀ノ名号トナヘツ、	六首目
え こ う 回 向	せそんがいつしん 世尊我一心	つけもの 附物
お ふ み 御 文	ちゆうこいらい 中古已来	じやうめだい つう 四帖目第五通

14:45~ ^{しんらんしやうにんさんごう}親鸞聖人讚仰講演会

法 話 ^{おだ あきひろ}織田 顕祐 氏

(大谷大学名誉教授・同朋大学特任教授・真宗大谷派嗣講)

16:10~ ^{しよやごんぎやう}初夜勤行

しやうしんげ 正 信 偈	そうしくめさげ 草四句目下	どうぼうほうさんしき 同朋奉讚式
-----------------	------------------	---------------------

引き続き 御伝鈔 (下卷)

拝読者 別院列座 ^{やまざき}山崎 ゆかり

22日(水)

7:00~ ^{ちゅうじんじょう}中晨朝 ^{法話} 別院責任役員 ^{かたやま かんりゅう}片山寛隆氏

しょうしんげ 正信偈	そうしくめさげ 草四句目下	どうぼうしょうわ 同朋唱和
ねんぶつさん 念仏讚	ゆり 淘三	
わさん 和讚	みだじょうぶつ 弥陀成仏ノコノカタハ	しだいろくしゅ 次第六首
えこう 回向	がんにしくどく 願以此功德	
おふみ 御文	まいねんふけつ 毎年不闕	じょうめだい つう 3帖目第11通

10:00~ ^{ちゅうにつちゅう}中日中(楽)

かだ 伽陀	けいしゅてんにん 稽首天人	つけもの 附物
とうこうざ 登高座		
しきたんどもん 式嘆徳文		
かだ 伽陀	にやくひしゃか 若非釈迦	つけもの 附物
	せそんせつぼう 世尊説法	つけもの 附物
	しんじんもうく 身心毛孔	つけもの 附物
	じきにゅうみだ 直入弥陀	つけもの 附物

げこうざ 下高座		
もんるいげ 文類偈	そうしくめさげ 草四句目下	
ねんぶつさん 念仏讚	ゆり 淘八	さんじゅうねんぶつ つけもの 三重念仏 附物
わさん 和讚	しょうじ ぐかい 生死ノ苦海ホトリナシ	しだいよんしゅ 次第四首
えこう 回向	がんにしくどく 願以此功德	つけもの 附物

11:20~ ^{法話} 龍茂樹氏(大垣教区第1組 善念寺住職)

13:30~ ^{けちがんだいや}結願逮夜(楽) ^{おおたにひろゆきほんざんかぎやくごさんしゅう}大谷浩之本山鍵役御参修

しょうしんげ 正信偈	くぎり 句切	
ねんぶつさん 念仏讚	ゆり 淘八	さんじゅうねんぶつ つけもの 三重念仏 附物
わさん 和讚	ごじゅうろくおくしちせんまん 五十六億七千万	しだい 次第六首
ごへんがえし 五遍反		
えこう 回向	せそんがいつしん 世尊我一心	つけもの 附物
ごぞくしょう 御俗姓		



15:00~ ^{法話} 龍茂樹氏(大垣教区第1組 善念寺住職)